

パンジャブ州灌漑システム改善計画【パキスタン】

施策所管局課 国別開発協力第二課
 評価年月日 平成 31 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	パキスタン・イスラム共和国
(2) 案件名	パンジャブ州灌漑システム改善計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>パンジャブ州にて, 第三次水路を中心とした灌漑施設・水資源管理関連施設の改修, 農民組織の設立・育成支援, 地下水保全管理に係る支援を実施することにより, 農業生産性の向上を図り, もって貧困緩和に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灌漑施設改修 ・ 農民組織設立・育成 ・ 地下水管理改善 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日: 平成 20 年 5 月 1 日 イ 供与限度額: 113.82 億円 ウ 金利: 1.2% (コンサルティングサービスについては, 0.01%) エ 償還 (据置) 期間: 30 (10) 年 オ 調達条件: 一般アンタイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初, パキスタンにおいては灌漑農地が全農地の 8 割以上を占めており, 灌漑セクターの開発が農業振興及び農村活性化の鍵と認識されていた。中でも同国最大の灌漑面積を有するパンジャブ州では, 灌漑用水の安定供給及び農民組織による自主的な維持管理を通じた水利用の効率化が, 農業生産性の向上, 貧困層の多い小農の所得向上に不可欠であった。</p> <p>現在も, 同国においては灌漑農地が全農地の 8 割以上を占めており, 2018 年に策定された「国家水政策」では, 農業生産性向上のため, 灌漑設備管理能力, 節水技術, 排水技術の向上などを重点分野に掲げており, 灌漑施設・水資源管理関連施設の改修及び水管理技術に対する開発協力の必要性が引き続き見込まれることから, 現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>開発効果を更に高めるため, 既存設備の老朽化等によって年複数回にわたり水路の決壊が発生しているパンジャブ州サルゴダ地区の第三次水路の拡幅・改修 (水路約 105km, 放水路約 18km) を事業コンポーネントとして新たに追加した。かかるコンポーネントの追加により事業は完了していないが, 追加コンポーネントの実施は順調に進められており, 本事業は 2019 年 6 月末頃までに完了する見込み。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり, 事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており, 貸付け最終段階にあることから, 引き続き支援を継続する。</p>

3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none">・ 交換公文・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html)・ 国際協力機構の案件検索 (https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php)・ 国際協力機構の事業事前評価表 (https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html)・ そのほか国際協力機構から提出された資料
------------------------	--